

株式会社 **トクヤマ**

2011年3月期第2四半期
(2010年度上期)

決算説明会

2010年11月12日

C O N T E N T S

説 明 内 容

- 1 第2四半期(上期)決算
- 2 通期業績予想
- 3 多結晶シリコンの事業展開
- 4 トピックス
- 5 補足資料

1 第2四半期(上期)決算

1. 決算概要

2. 決算要因分析

予想比

(参考) セグメント別売上高／営業利益

前期比

1. 決算概要

(億円)

	10/上実績		10/上予想		差異			
	連結	単体	連結	単体	連結		単体	
収益状況					金額	%	金額	%
売上高	1,396	944	1,400	960	▲3	▲0	▲15	▲2
営業利益	87	64	80	65	+7	+10	▲0	▲1
経常利益	59	35	60	45	▲0	▲0	▲9	▲20
純利益	29	4	35	20	▲5	▲16	▲15	▲79

	10年9月末		10年3月末		増減	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
資産状況						
総資産	4,675	4,028	4,528	3,916	+146	+111
純資産	2,422	2,168	2,436	2,201	▲13	▲33
自己資本比率	50.4%	53.8%	52.4%	56.2%	▲2.0ポイント	▲2.4ポイント

※ 10/上予想；10年8月2日公表数値

1. 決算概要

営業外損益

(億円)

		10/上	09/上	差損益	備考
営業外収益	受取利息・配当金	3	3	▲0	
	その他	15	12	+2	
	計	19	16	+2	
営業外費用	支払利息・社債利息	8	9	+0	
	その他	38	21	▲17	為替差損 ▲19
	計	47	30	▲16	
営業外損益		▲27	▲13	▲14	

1. 決算概要

特別損益

(億円)

	10/上	09/上	差損益	備考
特別利益	11	15	▲3	投資有価証券売却益 ▲10 国庫補助金収入 +5
特別損失	30	17	▲13	事業整理損 ▲8 事業整理引当金繰入 ▲6 製品補償引当金繰入 ▲7 マレーシア事業化費用 +4
特別損益	▲18	▲1	▲17	

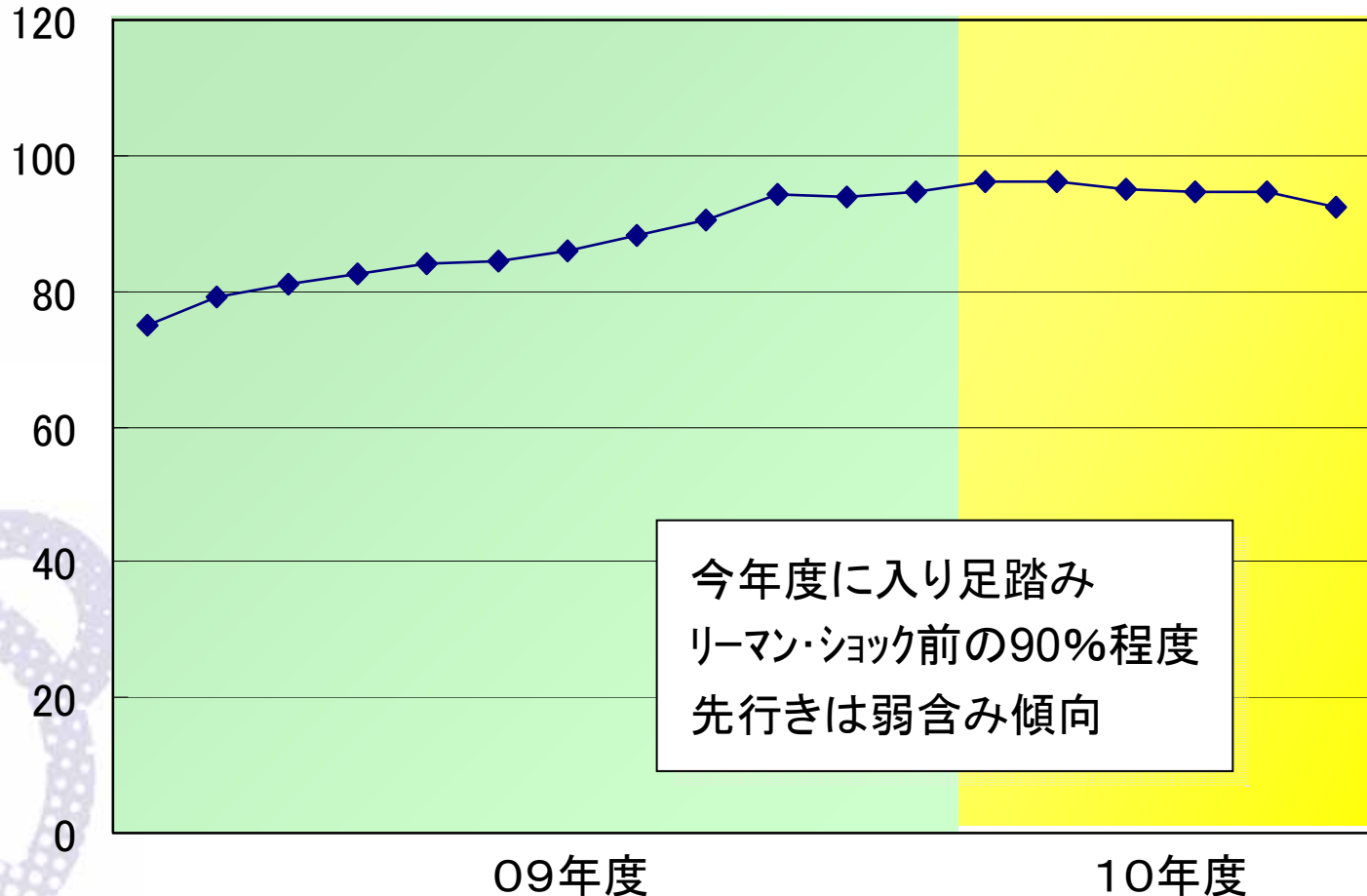
2.決算要因分析

- ① 上期の事業環境
- ② 上期決算のポイント
- ③ セグメント別 売上高／営業利益
予想比

① 上期の事業環境

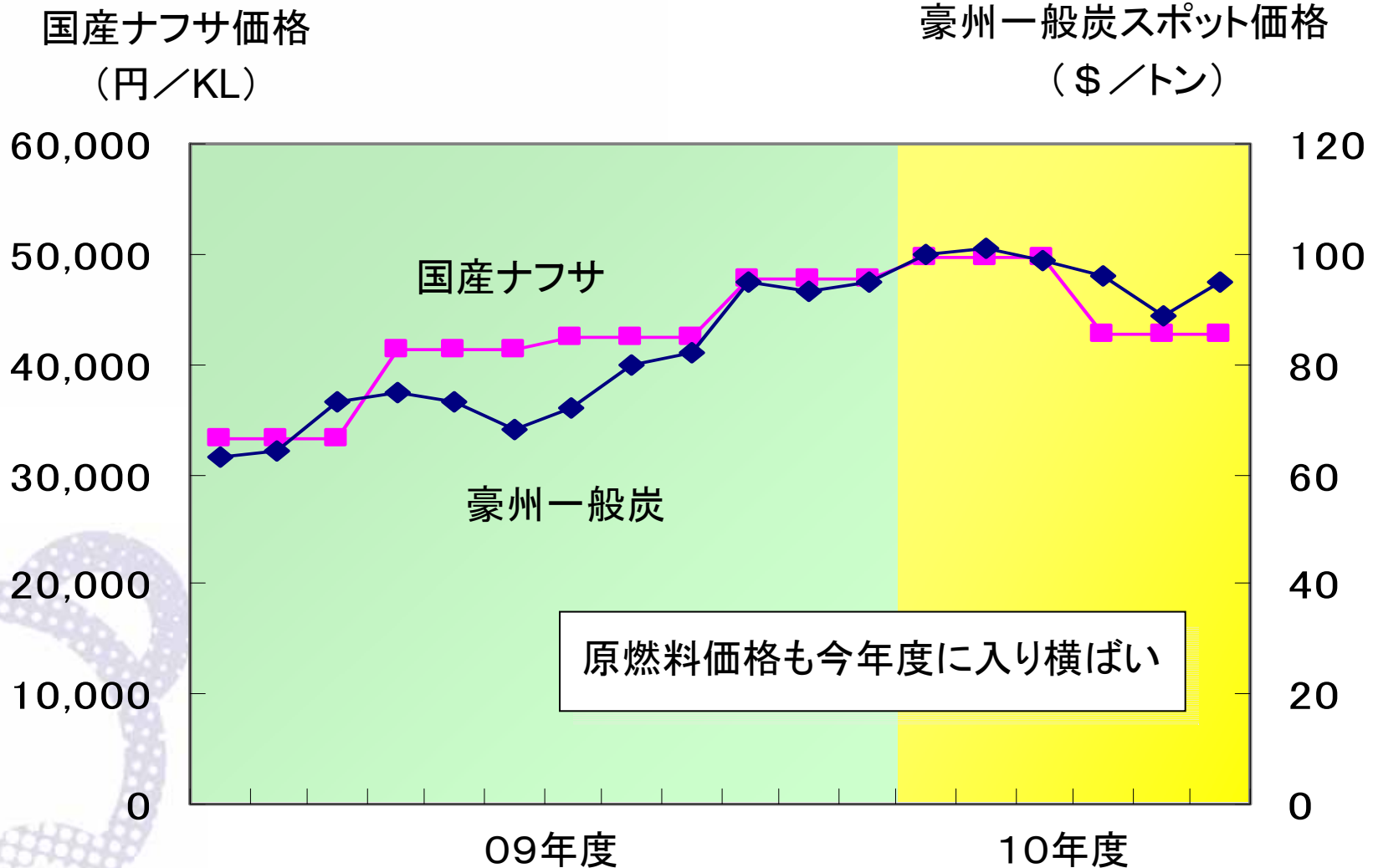
鉍工業生産指数(一)

2005年度=100



今年度に入り足踏み
リーマン・ショック前の90%程度
先行きは弱含み傾向

① 上期の事業環境



② 上期決算のポイント

予 想 比

販売数量・価格

8月の修正予想通り、全般的に堅調。

特に多結晶シリコンは太陽電池用途の需要が非常に強く、
価格が緩やかに上昇
塩化ビニルモノマーの輸出価格も予想通り堅調

セメント合理化

計画通りに進捗。キルン2基体制を確立。

原燃料コスト

ナフサ価格は予想を下回る。その他は予想通り。

③ セグメント別売上高／営業利益

予 想 比

(億円)

	10／上実績		10／上予想		差 異			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化学品	387	12	395	10	▲ 7	▲ 2	+ 2	+27
特殊品	462	73	470	70	▲ 7	▲ 2	+ 3	+ 4
セメント	303	6	295	5	+ 8	+ 3	+ 1	+25
機能部材	214	11	210	5	+ 4	+ 2	+ 6	+126
その他	207	12	205	10	+ 2	+ 1	+ 2	+22
計	1,575	115	1,575	100	+ 0	+ 0	+15	+15
セグメント間 消去・全社費用	▲178	▲27	▲175	▲20	▲ 3	—	▲ 7	—
連結決算	1,396	87	1,400	80	▲ 3	▲ 0	+ 7	+10

* 各事業セグメントの売上高にはセグメント間売上高を含む
10／上予想は、10年8月2日公表数値

(参考)セグメント別売上高／営業利益

前年同期比

(億円)

	10／上実績		09／上実績		差異			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化学品	387	12	348	9	+39	+11	+2	+31
特殊品	462	73	421	84	+41	+10	▲11	▲13
セメント	303	6	302	▲0	+1	+0	+6	—
機能部材	214	11	210	6	+4	+2	+4	+79
その他	207	12	169	8	+37	+22	+3	+40
計	1,575	115	1,451	108	+123	+9	+6	+6
セグメント間 消去・全社費用	▲178	▲27	▲143	▲25	▲34	—	▲2	—
連結決算	1,396	87	1,307	83	+88	+7	+4	+5

* 各事業セグメントの売上高にはセグメント間売上高を含む

2 通期業績予想

1. 今後の事業環境

2. 10年度通期業績予想

3. 業績推移

1. 今後の事業環境

化学品

- ◆ 堅調な推移を見込む

特殊品

- ◆ 半導体市場は減速感あり、太陽電池市場は現時点では好調を維持
 - ・多結晶シリコンは太陽電池需要が好調なため、販売数量は増加を見込む。

セメント

- ◆ 内需は当初想定通り4,000万トン程度になる見込
 - ・厳しい事業環境の中、引き続き合理化を推し進める。

機能部材

- ◆ フィガロ技研などグループ会社の好調を引き続き見込む
 - ・エクセルシャノングループは着実な改修で信頼回復に努める。

2.10年度通期業績予想

① 業績予想の前提

修正

② 通期業績予想

当初予想比

③ セグメント別通期業績予想

当初予想比

(参考) セグメント別売上高／営業利益

前期比

①業績予想の前提

修正

	10／下 前提	10／上 実績	09／下 実績	09／上 実績
国産ナフサ価格 (円／KL)	45,000	46,200	45,100	37,250
為替 (円／\$)	85	89	90	95

10年度の当初前提

国産ナフサ価格 : 51,000円／KL

為替 : 95円／\$

② 通期業績予想

当初予想比

(億円)

	10修正予想		10当初予想		差異			
	連結	単体	連結	単体	連結		単体	
収益状況					金額	%	金額	%
売上高	2,860	1,945	2,860	1,920	0	0	+25	+1
営業利益	175	135	140	110	+35	+25	+25	+23
経常利益	140	95	130	100	+10	+8	▲5	▲5
当期純利益	75	40	75	60	0	0	▲20	▲33

※ 10当初予想；10年5月12日公表数値

③ セグメント別通期業績予想

当初予想比

(億円)

	修正予想		当初予想		差異			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化学品	795	20	790	20	+5	+1	0	0
特殊品	955	150	930	145	+25	+3	+5	+3
セメント	610	10	635	5	▲25	▲4	+5	+100
機能部材	450	25	450	20	0	0	+5	+25
その他	410	20	410	25	0	0	▲5	▲20
計	3,220	225	3,215	215	+5	+0	+10	+5
セグメント間 消去・全社費用	▲360	▲50	▲355	▲75	▲5	▲1	+25	+33
連結決算	2,860	175	2,860	140	0	0	+35	+25

* 各事業セグメントの売上高にはセグメント間売上高を含む
当初予想は、10年5月12日公表数値

(参考)セグメント別売上高／営業利益

前 期 比

(億円)

	10修正予想		09実績		差 異			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化学品	795	20	725	31	+69	+10	▲11	▲36
特殊品	955	150	886	140	+68	+8	+9	+7
セメント	610	10	646	13	▲36	▲6	▲3	▲28
機能部材	450	25	420	11	+29	+7	+13	+123
その他	410	20	362	21	+47	+13	▲1	▲8
計	3,220	225	3,041	218	+178	+6	+6	+3
セグメント間 消去・全社費用	▲360	▲50	▲309	▲54	▲50	▲16	+4	+8
連結決算	2,860	175	2,731	164	+128	+5	+10	+6

* 各事業セグメントの売上高にはセグメント間売上高を含む

3.業績推移

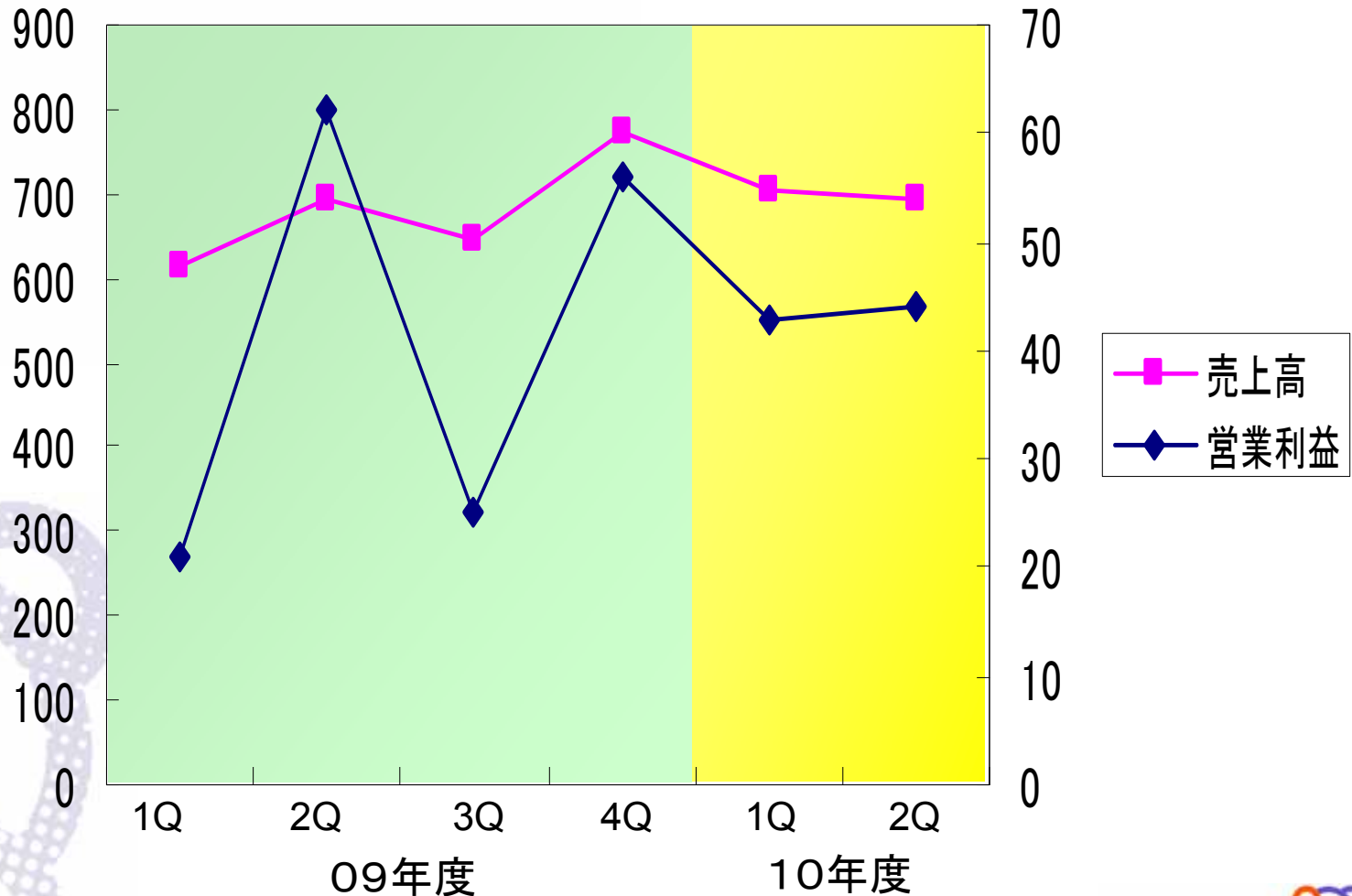
- ① 四半期毎の売上高／営業利益推移
- ② ここ10年間の業績推移

① 四半期毎の売上高／営業利益推移

連 結

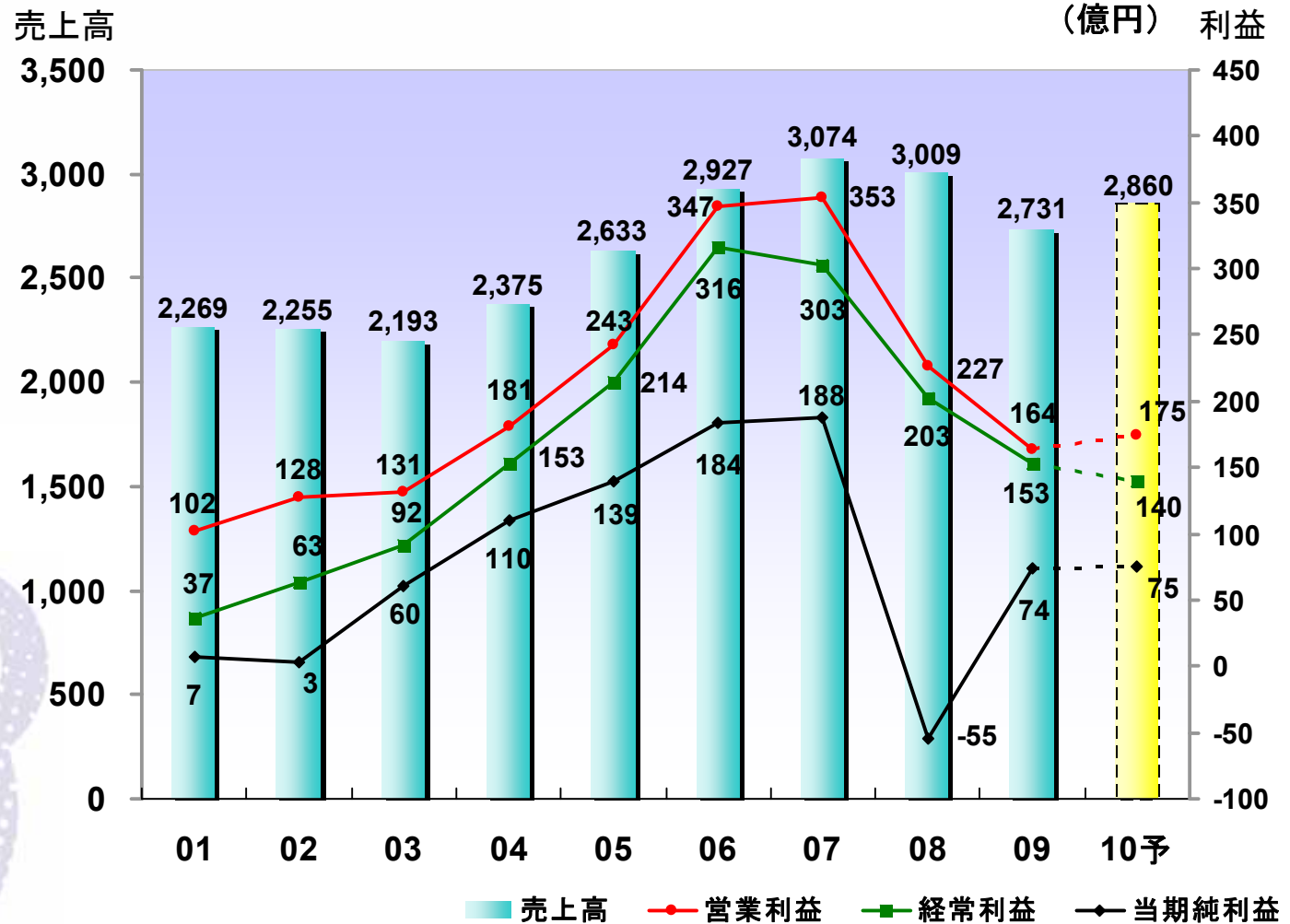
売上高(億円)

営業利益(億円)



②ここ10年間の業績推移

連 結



3 多結晶シリコンの事業展開

1. マレーシア新設プラントの概要
2. マレーシア計画の進捗
3. トクヤママレーシアの競争力
4. 多結晶シリコン事業の戦略と目標シェア
5. 増設計画

1. マレーシア新設プラントの概要

生産能力 6,200トン/年(デボトルで7,000トン/年まで可能)

製造技術 ジーメンス法

用途 太陽電池用途

建設計画 2011年2月より建設開始
2013年9月営業運転開始

投資額 800億円(内プラント建設費650億円)

建設会社 千代田化工建設株式会社

運営方法 マレーシアに100%子会社を設立し運営
(社名: Tokuyama Malaysia Sdn. Bhd.)

2. マレーシア計画の進捗

千代田化工とのキックオフミーティング



2010年9月22日

ビンツル事務所開設



2010年8月30日

3. トクヤママレーシアの競争力①

技術	20数年に及ぶ技術の蓄積と経験 高品質製品を安定生産可能な技術力
コスト	水力発電による安価で豊富な電気 高い生産効率(析出速度、反応効率) 連邦政府・州政府によるインセンティブ
販売	顧客との長年にわたる信頼関係 長年培ったブランド力と営業力

3. トクヤママレーシアの競争力②

想定市場価格

\$45~50/kg

EBITDA
マージン

50%以上

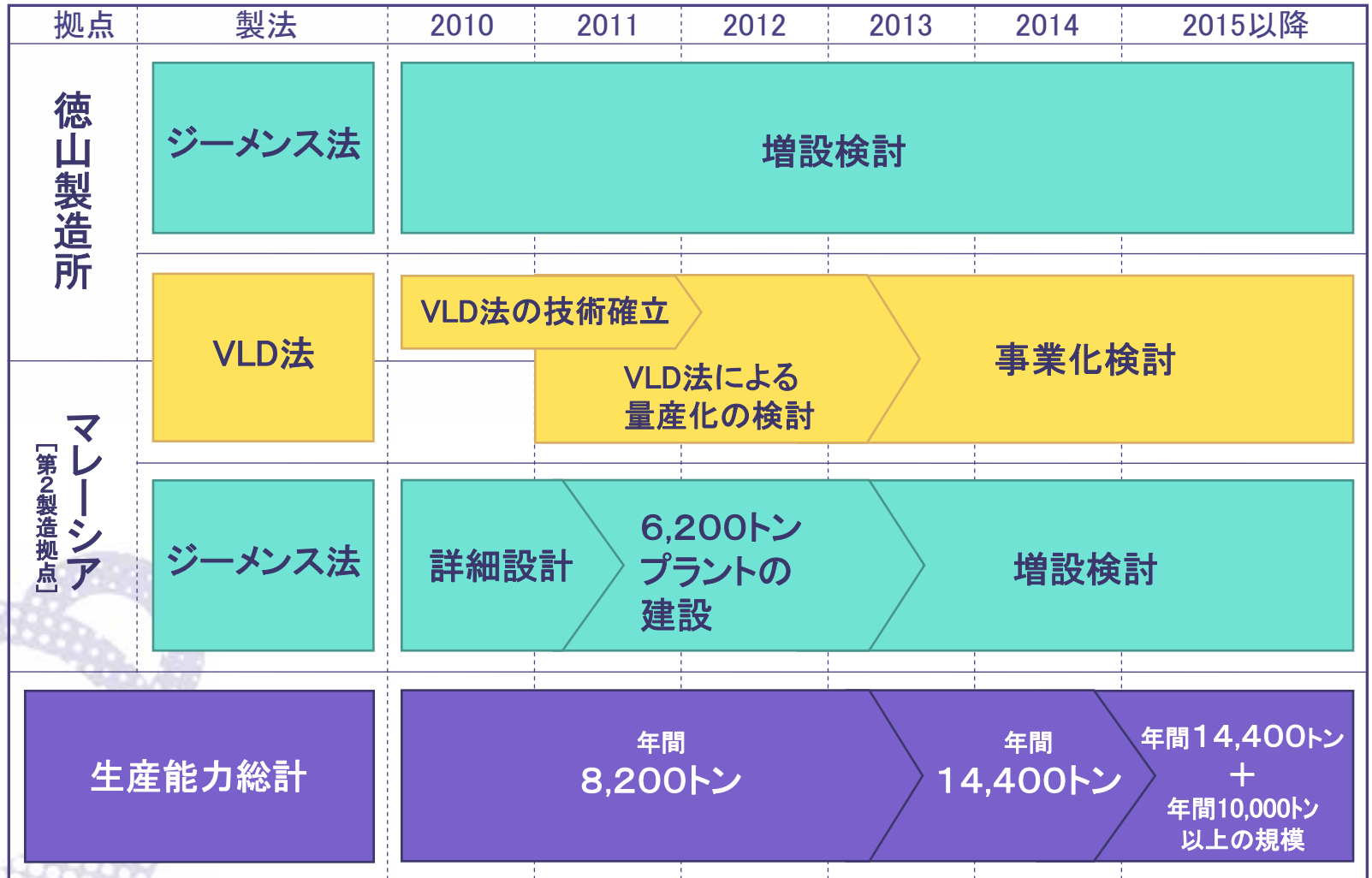
※EBITDAマージン: 利払い・税引き・償却前利益 / 売上高

4. 多結晶シリコン事業の戦略と目標シェア

戦略	<ul style="list-style-type: none"> ● 積極的投資による事業拡大 ● 品質・コスト両面での競争力強化 ● 多結晶シリコン業界での存在感維持
----	---

目標 シェア	半 導 体 用 途	20%以上	高品質製品の安定供給。 長期契約の継続。
	太 陽 電 池 用 途	10%以上	単結晶型太陽電池用途でのシェア拡大。 多結晶型太陽電池用途には、 VLD法もしくは既存ジーマンス法の 改良検討を進め、コスト競争力を高める。

5.増設計画



- 1.徳山化工の設備増強
- 2.現像液の設備増強
- 3.樹脂サッシ問題

1.徳山化工の設備増強

乾式シリカ、TCS・STC設備の増強

- ・09年末、乾式シリカの設備増強、従来2倍の年産10,000トンへ
- ・需要急増の乾式シリカ艶消しグレードの設備増強を決定、11年夏完成予定、従来2倍の年産600トンへ
- ・TCS、STCの設備増強、年末から営業運転開始、年産各10,000トンへ



完成したTCS・STC高純度化設備

※TCS(三塩化ケイ素)、STC(四塩化ケイ素)



TCS・STC高純度化設備の竣工式

(10月13日) Chemistry with a heart
TOKUYAMA 

2.現像液の設備増強

半導体・液晶用現像液(TMAH)の設備増強完了

- ・トクヤマグループ生産能力:年産45,000ト
- ・アジアでのシェア50%を目指す



最新鋭の現像液製造設備



徳山製造所の現像液出荷設備

3.樹脂サッシ問題

認定取得・改修の進捗状況

大臣認定の取得状況

- ◆認定取得:43件、認定取得準備中:2件(10/15時点)
- ◆認定取得品で90%以上の物件改修が可能
残りは特別仕様の認定取得のみ(年度内完了予定)

改修の進捗状況

- ◆4,183棟のうち、31%の改修が完了(10/15時点)
- ◆改修はエクセルシャノン認定品で実施

Chemistry with a heart

TOKUYAMA



1. 主要指標

2. 設備投資額推移

単体

3. 有利子負債残高推移

連結

4. 主要グループ会社売上高

5. 09年度セグメント別売上高／

営業利益

1. 主要指標①

前年同期比

		10/上		09/上		増減	
		連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	億円	116	56	138	109	▲21	▲52
減価償却実施額	億円	153	130	177	156	▲23	▲26
研究開発費	億円	58	48	57	47	+ 0	+ 0
金融収支	億円	▲ 4	+ 4	▲ 5	+ 2	+ 0	+ 2

1. 主要指標②

前 期 末 比

		10年9月末		10年3月末		増 減	
		連結	単体	連結	単体	連結	単体
有利子負債	億円	1,189	986	1,000	794	+189	+192
期末人員	人	5,538	2,191	5,444	2,172	+94	+19

1.主要指標③

予想の前期比

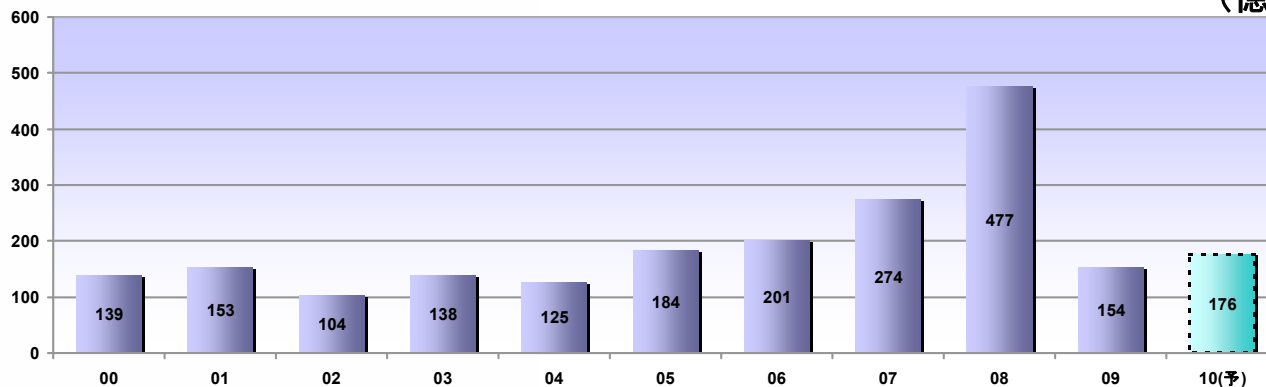
(億円)

		10年度予想		09年度実績		増減	
		連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	認可枠合計	474	280	360	294	+114	▲14
	見込	340	176	-	-	-	-
	実績(計上)	-	-	265	154	-	-
減価償却費		310	264	376	334	▲66	▲69
研究開発費		114	95	118	100	▲3	▲4

2.設備投資額推移

単 体

(億円)



05~06

07~

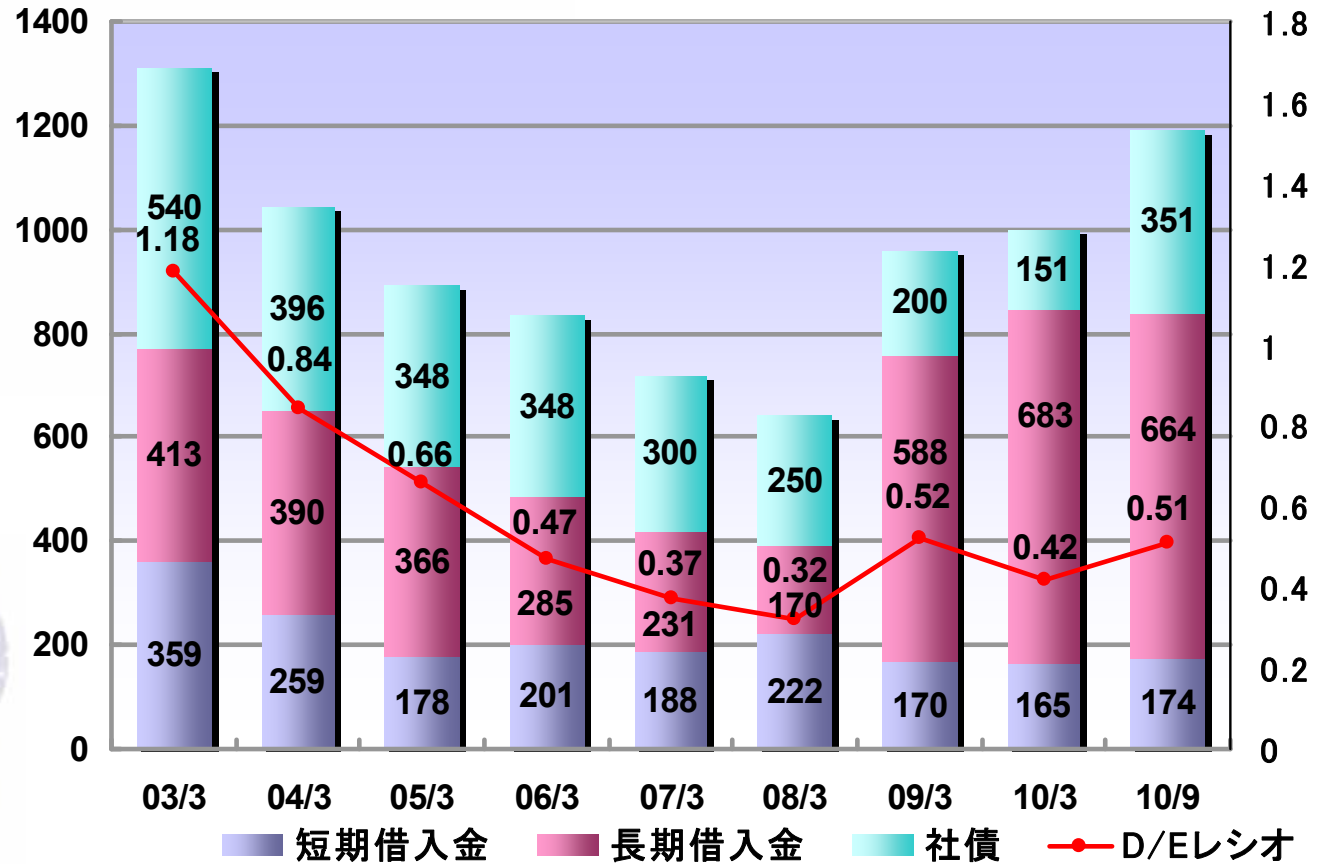
能力増強	シリカ増設 現像液増設 9号タービン更新	多結晶シリコン増設 乾式シリカ増強 ジェネリック医薬品原薬増強
新規・研究	VLD実証設備 CaF ₂ 生産設備 単結晶窒化アルミニウム設備	VLD実証設備 CaF ₂ 生産設備 単結晶窒化アルミニウム設備
インフラ整備	原塩栈橋更新 土地造成	東動力系統整備 基幹システム再構築 土地造成
環境・省エネ・合理化	7号ボイラー更新 電解S&B 廃棄物燃料化設備	7号ボイラー更新

3.有利子負債残高推移

連 結

(有利子負債:億円)

(D/Eレシオ)



4.主要グループ会社売上高

	会社名	事業内容	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	売上高(百万円)	
					10/上	09/上
①	新第一塩ビ(株)	塩化ビニル樹脂の製造販売	2,000	71	9,488	7,741
②	トクヤマ通商(株)	セメント・生コンクリート、各種建設資材の販売	95	100	8,475	7,917
③	サン・トックス(株)	プラスチックフィルムの製造販売	1,600	100	8,112	7,599
④	(株)エイアンドティー(12月決算)	臨床診断分析機器、試薬及び関連システムの販売	578	40	3,838	3,541
⑤	関西トクヤマ販売(株)	生コンクリート、各種建設資材の販売	80	100	3,735	4,018
⑥	(株)エクセルシャノン	プラスチックサッシの製造販売	495	100	3,656	4,178
⑦	(株)トクショウ	生コンクリート、各種建設資材の販売	40	100	3,491	3,049
⑧	フィガロ技研(株)	ガスセンサー素子及び応用製品の製造販売	99	100	2,522	2,053
⑨	(株)トクヤマデンタル	歯科用材料・歯科用機械器具の製造及び販売	100	100	2,025	2,267
⑩	徳山化工(浙江)(有) (12月決算)	乾式シリカ、TCS、STCの製造販売	351.2 百万元	100	1,873	1,116

5.09年度セグメント別売上高／営業利益

(億円)

	1Q		2Q		3Q		4Q		年度計	
	売上高	営利	売上高	営利	売上高	営利	売上高	営利	売上高	営利
化学品	171	6	177	3	182	7	194	13	725	31
特殊品	178	29	242	55	175	10	289	45	886	140
セメント	150	▲0	151	0	173	5	170	8	646	13
機能部材	101	0	108	5	102	2	107	2	420	11
その他	80	2	89	5	99	5	93	7	362	21
計	681	38	769	70	734	32	854	77	3,041	218
セグメント間 消去・全社費用	▲69	▲16	▲74	▲8	▲86	▲7	▲79	▲21	▲309	▲54
連結決算	612	21	695	62	648	25	775	56	2,731	164

* 各事業セグメントの売上高にはセグメント間売上高を含む

本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。